

第16回 ジュニアかなざわ オンライン検定 問題（中学生版）

問題1

金沢を上空から見ると、犀川（さいがわ）と浅野川（あさのがわ）の間に小立野（こだつの）台地がある。小立野台地の先端（せんたん）に（ ）城跡（じょうあと）があり、金沢の中心となっている。（ ）の中に入るのはどれか。

- 1 小立野
- 2 卯辰
- 3 高尾
- 4 金沢



問題2

金沢にはたくさんの方言がある。その中で「道がこおったようす」をあらわす方言はどれか。

- 1 かんかんなまなま
- 2 きんきんなまなま
- 3 きんかんなまなま
- 4 こんこんぬまぬま

問題3

金沢が生んだ文豪（ぶんごう）、「幼年（ようねん）時代」「性に眼覚める頃（ころ）」などの小説や「犀川（さいがわ）」という詩などを発表した人物は誰（だれ）か。

- 1 徳田 秋声（とくだ しゅうせい）
- 2 泉 鏡花（いずみ きょうか）
- 3 夏目 漱石（なつめ そうせき）
- 4 室生 犀星（むろお さいせい）



問題4

加賀藩（はん）2代藩主前田利長（まえだとしなが）や3代藩主前田利常（まえだとしつね）は金沢城を守るために、内堀（うちぼり）、外堀（そとぼり）を造らせ、堀の内側には土を高く盛り上げた土居（どい）を築かせた。これらは何と呼ばれているか。

- 1 腰曲輪（こしぐるわ）
- 2 馬出（うまだし）
- 3 惣構（そうがまえ）
- 4 逆茂木（さかもぎ）



問題5

上田作之丞（うへださくのじょう）の私塾抛遊館（きょゆうかん）で実学（じつがく）を学んだ中下級武士たちは、長連弘（ちょうつらひろ）により多数登用され、加賀藩の財政の立て直しにつとめた。こうした武士たちは人々から何と呼ばれていたか。

- 1 黒羽織党（くろばおりとう）
- 2 赤母衣衆（あかほろしゅう）
- 3 三光寺派（さんこうじは）
- 4 八家（はっか）

問題6

水の豊富な金沢は、「用水のまち」としても有名である。市内には何本の用水が流れているか。

- 1 30本
- 2 45本
- 3 55本
- 4 70本



問題7

八田與一（はったよいち）は当時アジア最大といわれた烏山頭（うさんとう）ダムや長大な水路を完成させるなど、不毛の大地を豊かな平野に変えたことで知られている。八田與一が活躍（かつやく）した場所はどこか。

- 1 朝鮮（ちょうせん）
- 2 中国
- 3 台湾（たいわん）
- 4 タイ

問題8

金沢の気候は、梅雨（つゆ）の季節や台風（たいふう）の頃（ころ）、そして特に冬は降水量が多くなる。このような気候を何というか。

- 1 北日本型気候
- 2 日本海側気候
- 3 西日本側気候
- 4 北日本海気候

問題9

金沢市内の南部に豊かな自然にめぐまれた山がある。その山には加賀藩（かがはん）初代藩主（はんしゅ）前田利家（まえだとしいえ）とその正室（せいしつ・妻のこと）芳春院（ほうしゅんいん）、その他の歴代藩主や前田家一族の墓や、金沢を代表する多くの著名人の墓があるが、その山を何というか。

- 1 野田山（のだやま）
- 2 大乘寺山（だいじょうじやま）
- 3 卯辰山（うたつやま）
- 4 三子牛山（みつこうじやま）



問題 10

金沢の町は、町奉行（まちぶぎょう）が支配していた。武士には武士の役人がいた。町人には町年寄（まちどしより）・散算用聞（ちりさんようきき）・町肝煎（まちきもいり）など町人の役人が仕事をしていた場所はどこか。

- 1 町役場
- 2 公役所
- 3 町会所
- 4 公会堂

問題 11

加賀藩（はん）では、収入の少ない下級武士のくらは決して楽ではなく、内職をして生計を立てる者が多くいた。このような下級武士の日常生活について学ぶことができる、長町にある旧清水家屋敷（やしき）を何というか。

- 1 前田土佐守家資料館（まえだとさのかみけしりょうかん）
- 2 金沢文芸館（かなざわぶんげいかん）
- 3 金沢蓄音機館（かなざわちくおんきかん）
- 4 足軽資料館（あしがるしりょうかん）



問題 12

1488年（長享（ちょうきょう）2）、農民や僧（そう）たちが中心になって一向一揆（いっこういっき）をおこし、高尾（たこう）城を攻撃（こうげき）して守護富樫政親（とがしまさちか）を倒した。これ以降、加賀の国は何とよばれるようになったか。

- 1 坊主（ぼうず）の持ちたる国
- 2 職人の持ちたる国
- 3 商人の持ちたる国
- 4 百姓（ひやくしょう）の持ちたる国

問題 13

金沢には、金沢をホームタウンとしたスポーツチームに「Honey Bee (ハニー・ビー)」という団体がある。スポーツ種目名はどれか。

- 1 ハンドボール
- 2 バレーボール
- 3 バトミントン
- 4 バスケットボール



問題 14

金沢出身で、仏教を説明する本を出版したり講演したりして、仏教を外国に伝えた哲学者（てつがくしゃ）は誰（だれ）か。

- 1 木村 栄（きむら ひさし）
- 2 高峰 讓吉（たかみね じょうきち）
- 3 鈴木 大拙（すずき だいせつ）
- 4 野口 遵（のぐち したがう）

問題 15

加賀藩（はん）では、3代藩主前田利常が、それまでの家来が管理していた農政を改め、藩が直接農村を管理する方法をとった。藩の農政の安定につながったの方法はどれか。

- 1 改作法
- 2 農政法
- 3 改農法
- 4 農改法

問題 16

金沢市の市章は 1891 年（明治 24）に市議会で決められた。そのデザインは、ある花の形を線で描き、その中に金沢を意味する「金」の文字を書き入れたものである。ある花とは何の花か。

- 1 桜
- 2 梅
- 3 松
- 4 桃



問題 17

金沢市は、スポーツで人と街を元気にすることを目指しているが、スポーツを行うだけでなく、「観る、応援（おうえん）する、語り合う」ことが日常生活にとけこみ、金沢の風土として受けつがれていくように、2018 年（平成 30）に金沢市が制定した条例は何か。

- 1 金沢市体育施設（しせつ）条例
- 2 金沢市スポーツ広場条例
- 3 金沢市スポーツ基本（きほん）条例
- 4 金沢市スポーツ文化推進（すいしん）条例



問題 18

北陸地方における最初の鉄道開業は、1882 年（明治 15）滋賀県の長浜（ながはま）市と福井県の敦賀（つるが）市の間である。金沢まで開業したのは何年か。

- 1 1892 年（明治 25）
- 2 1895 年（明治 28）
- 3 1898 年（明治 31）
- 4 1900 年（明治 33）

問題 19

江戸時代の北陸地方における農業の書物「耕稼春秋」(こうかしゅんじゅう)には農家の月ごとにする仕事や作るべき作物、肥料や農具のことが書かれているが、この書物を書いたのは誰(だれ)か。

- 1 宮崎 安貞 (みやざき やすさだ)
- 2 土屋 又三郎 (つちや またさぶろう)
- 3 後藤 太兵衛 (ごとう たへえ)
- 4 枝 権兵衛 (えだ ごんべえ)

問題 20

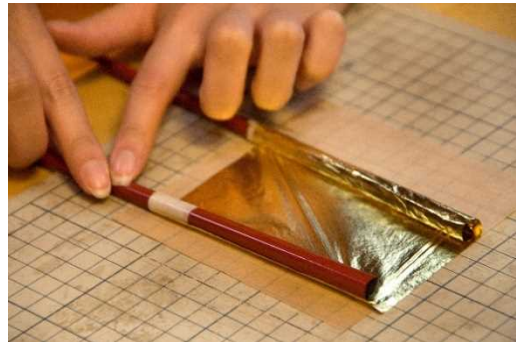
江戸時代、日本海から下関をまわり大坂に行く船は北前船(きたまえぶね)と呼ばれ、危険をともないながら莫大(ばくだい)な利益をあげた。これにより一代で巨万(きょまん)の富を築き、「海の百万石」としよされた宮腰(みやのこし)の豪商(ごうしょう)は誰(だれ)か。

- 1 茶屋 四郎次郎 (ちゃや しろうじろう)
- 2 大野 弁吉 (おおの べんきち)
- 3 銭屋 五兵衛 (ぜにや ごへえ)
- 4 紀伊國屋 文左衛門 (きのくにや ぶんざえもん)

問題 21

金沢は伝統工芸が盛んである。そのうち金箔(きんぱく)は全国にその名がとどろいている。金沢の金箔の生産は全国で何位か。

- 1 1位
- 2 2位
- 3 3位
- 4 4位



問題 22

1874 年（明治 7）、「金沢製糸場（せいしじょう）」が長町の川岸につくられた。当時としては国がつくった富岡製糸場に次いで全国第 2 位の大きさの工場で、鞍月（くらつき）用水から水を引き、大きな水車を使って機械を動かしていた。この「金沢製糸場」をつくった人物は誰（だれ）か。

- 1 稲垣 義方（いながき よしかた）
- 2 森下 八左衛門（もりした はちざえもん）
- 3 長谷川 準也（はせがわ じゅんや）
- 4 津田 米次郎（つだ よねじろう）

問題 23

1858 年（安政 5）、凶作（きょうさく）で米の値上がりに苦しむ人々が藩（はん）の米を出してくれるよう、卯辰山（うたつやま）から金沢城の殿様（とのさま）にさげんで救済をうったえた。この一揆（いっき）を何というか。

- 1 世直し一揆（よなおしいっき）
- 2 徳政一揆（とくせい いっき）
- 3 百姓一揆
- 4 泣き一揆



問題 24

金沢には、今に伝わる年中行事が多く残っているが、6 月（旧 5 月）にある無病息災（むびょうそくさい）を願う行事はどれか。

- 1 人形供養（にんぎょうくよう）
- 2 針供養
- 3 しょうぶ湯
- 4 地藏盆（じぞうぼん）

問題 25

3代藩（はん）主前田利常（まえだとしつね）の時、板屋兵四郎（いたやへいしろう）に命じて辰巳（たつみ）用水を造らせた。その用水の取り入れ口は、犀川（さいがわ）上流のどこの村に作ったか。

- 1 銚子（ちょうし）村
- 2 末村
- 3 上辰巳（かみたつみ）村
- 4 駒帰（こまがえり）村



問題 26

豊臣秀吉（とよとみひでよし）にキリシタンとして追放され、領地を没収（ぼっしゅう）されたが、加賀藩（はん）初代藩主前田利家（まえだとしいえ）にむかえられ、金沢で熱心な布教を行い、多くの信者を得たのは誰（だれ）か。

- 1 高山 右近（たかやま うこん）
- 2 有馬 晴信（ありま はるのぶ）
- 3 大友 義鎮（おおとも よししげ）
- 4 大村 純忠（おおむら すみただ）



問題 27

金沢の地域福祉（ふくし）活動の原点であり、現在でもいろいろな生活相談や授産・託児（たくじ）などの援助（えんじょ）、さらには図書館や教育的活動などの地域の福祉・社会教育の拠点（きょてん）となった、1934年（昭和9）から1960年（昭和35）にかけて市内19か所に誕生したものは何か。

- 1 公民館
- 2 善隣（ぜんりん）館
- 3 友宜（ゆうぎ）館
- 4 福祉館

問題 28

江戸時代末期、卯辰山(うたつやま)の開発が進み、「養生所(ようじょうしょ)」、「撫育所(ぶいくしょ)」、「神社」などが建てられた。また、織物・製糸・製陶(せいとう)・工芸などの工場も建てられ、ふもとは多くの人たちでにぎわった。こうした事業を行った加賀藩(はん) 14代藩主は誰(だれ)か。

- 1 前田 慶寧(まえだ よしやす)
- 2 前田 重教(まえだ しげみち)
- 3 前田 吉徳(まえだ よしのり)
- 4 前田 斉泰(まえだ なりやす)



問題 29

「緑」は都市の機能を高める効果がある。1974年(昭和49)、金沢市議会が議決した宣言はどれか。

- 1 「緑の都市宣言」
- 2 「環境都市宣言」
- 3 「うるおい都市宣言」
- 4 「森林都市宣言」

問題 30

春、夏、秋、冬という季節の節目がはっきりしている金沢では、それぞれの季節に登場する和菓子(わがし)があり、生活の中にいろどりと美をそえている。うち、金沢のお正月に欠かせない、外の皮をむくと、中におみくじが入っている金沢独特の和菓子はどれか。

- 1 金花糖(きんかとう)
- 2 五色生菓子(ごしきなまがし)
- 3 氷室(ひむろ)まんじゅう
- 4 辻(つじ)うら



問題 31

加賀藩（はん）5代藩主の前田綱紀（まえだつなのり）は、細工人（さいくにん）の技術向上と工芸技術を保存し記録するために、全国から二千点以上の工芸品を収集し、整理・分類した。日本工芸における各種標本の集大成とされるこの標本集を何というか。

- 1 尊経閣文庫（そんけいかくぶんこ）
- 2 百工比照（ひゃくこうひしょう）
- 3 耕稼春秋（こうかしゅんじゅう）
- 4 百科全書（ひゃっかぜんしょ）

問題 32

金沢港は1954年（昭和29）に、大野港ともう一つの港が合併（がっぺい）してできた。もう一つの港はどれか。

- 1 河北（かほく）港
- 2 昭和（しょうわ）港
- 3 粟崎（あわがさき）港
- 4 金石（かないわ）港



問題 33

金沢の地名は芋堀藤五郎（いもほりとうごろう）が砂金を洗った金洗沢（かなあらいのさわ）から起こったと伝えられている。一説には、この芋堀藤五郎ではないかともいわれ、名君として知られた加賀介（かがのすけ）（介は長官の次の位の人）は誰（だれ）か。

- 1 富樫 忠頼（とがし ただより）
- 2 前田 利家（まえだ としいえ）
- 3 藤原 利仁（ふじわらの としひと）
- 4 源 義仲（みなもとの よしなか）

問題 34

金沢市では、歴史ある旧町名や坂道などの由来をきざんだ標柱(ひょうちゅう)を市内 224 か所に建てた。その標柱を何というか。

- 1 まちの歴史
- 2 歴史のしるべ
- 3 まちのしるべ
- 4 歴史のまちしるべ



問題 35

金沢には、金沢市無形民俗(みんぞく)文化財に指定された伝統行事が今もたくさん残っている。斧(おの)や刀、弓を持った山伏(やまぶし)が各家をまわる金石町や大野町で行われている行事はどれか。

- 1 はしご登り
- 2 加賀万歳(かがまんざい)
- 3 さかたおどり
- 4 悪魔払い(あくまばらい)



問題 36

1869年(明治2)に加賀藩(はん)は版籍奉還(はんせきほうかん)によって金沢藩になった。その後、1871年(明治4)の廃藩置県(はいはんちけん)で金沢県となり、何度か県境が変わる中で、美川(みかわ)に県庁が移された時から石川県となったが、なぜ石川県と呼ばれるようになったか。

- 1 初代県知事の名前が石川氏だったから
- 2 県庁のある美川が石川郡に所在したから
- 3 有名な石の産地やきれいな川が豊富にあるから
- 4 金沢城前の石川門が有名だったから

問題 37

珠姫（たまひめ）は幕府2代将軍徳川秀忠（とくがわひでただ）の二女で、徳川、前田両家を結ぶため加賀藩3代藩主前田利常（まえだとしつね）にとついだが、24歳の若さで亡くなった。珠姫の霊（れい）をまつるために利常がつくった寺を何というか。

- 1 大乘寺（だいじょうじ）
- 2 天徳院（てんとくいん）
- 3 伏見寺（ふしみでら）
- 4 金沢御堂（かなざわみどう）



問題 38

明治時代の初期、国会開設をめざす自由民権運動が全国に広がると、金沢でも明治維新（いしん）に取り残された士族たちによって政治結社（せいじけっしゃ）がつくられた。最初につくられた政治結社を何というか。

- 1 忠告社（ちゅうこくしゃ）
- 2 立志社（りっししゃ）
- 3 自助社（じじょしゃ）
- 4 愛国社（あいこくしゃ）

問題 39

金沢市は、公共交通の補完（ほかん）を考えて、市民の気軽な移動手段としてバスを導入した。此花（このはな）・菊川（きくがわ）・材木（ざいもく）・長町（ながまち）の4ルートがあるバスはどれか。

- 1 金沢循環（じゅんかん）バス
- 2 金沢まちバス
- 3 ふらっとバス
- 4 兼六園シャトルバス



問題 40

平安時代はじめの 823 年（弘仁 14）、加賀国が誕生した。それはどの国から分かれて誕生したのか。

- 1 越中国（えっちゅうのくに）
- 2 越前国（えちぜんのくに）
- 3 越後国（えちごのくに）
- 4 能登国（のとのくに）

問題 41

金沢では現在も能が盛んである。加賀藩（はん）5代藩主前田綱紀（まえだつなのり）が取り入れたことから金沢で盛んになった能の流派は何か。

- 1 金春流（こんばるりゅう）
- 2 和泉流（いずみりゅう）
- 3 観世流（かんぜりゅう）
- 4 宝生流（ほうしょうりゅう）



問題 42

1697 年（元禄 10）頃（ころ）の金沢は、江戸、大坂、京都に次ぐ大都市だったといわれており、町のにぎわいが「金沢城下図屏風（かなざわじょうかずびょうぶ）」にえがかれている。「金沢城下図屏風」にえがかれている下の写真の場所はどこか。

- 1 金沢港大橋付近
- 2 浅野川大橋付近
- 3 犀川大橋付近
- 4 大豆田大橋付近



問題 43

金沢には、昔から伝わる年中行事が今も数多く残っている。新年の正月に関係が深いものはどれか。

- 1 消防の「出初式」(でぞめしき)
- 2 「氷室」の饅頭(まんじゅう)
- 3 墓参りの「切籠(きりこ)」
- 4 「七五三」の宮参り

問題 44

藩政(はんせい)時代、金沢の町人の住む地域は、その役割や負担によって()、地子町(じしまち)、寺社門前地(じしゃもんぜんち)などに格付けされ分かれていた。()には、道路や橋の管理や修理の仕事をになっており、比較的(ひかくてき)生活に余裕(よゆう)のある町人が住んでいた。()の中に入るのはどれか。

- 1 中町
- 2 上町
- 3 片町
- 4 本町

問題 45

近年の発掘(はくくつ)調査の結果、縄文人は高度な技術をもち、おしゃれで感性豊かな自然人であったことが明らかになっている。日本ではじめての石の指輪が出土した金沢の遺跡(いせき)はどこか。

- 1 畝田(うねだ)遺跡
- 2 北塚(きたづか)遺跡
- 3 セツ塚(ななつづか)遺跡
- 4 チカモリ遺跡

問題 46

茶道普及（ふきゅう）のために京都から職人を招いて作らせた金沢の代表的な焼き物がある。ろくろを使わず手びねりによって作られた、独特の味わいのある飴色（あめいろ）が特色の焼き物を何というか。

- 1 九谷焼（くたにやき）
- 2 大樋焼（おおひやき）
- 3 有田焼（ありたやき）
- 4 珠洲焼（すずやき）



問題 47

加賀藩（はん）では、村方（農村）の村々に対して、村の収穫（しゅうかく）高とそれに見合う年貢（ねんぐ）などの割当（わりあて）を書いた書面をわたした。それには藩主の黒印がおされており、（ ）と呼ばれ、村の役人たちが大切に保管していた。（ ）の中に入るのはどれか。

- 1 村書付
- 2 村年貢（ねんぐ）書
- 3 村大切書
- 4 村御印（ごいん）

問題 48

1689年（元禄2）、松尾芭蕉（まつおばしょう）は「奥の細道」の旅の途中（とちゅう）、金沢に立ちつた。その際、小杉一笑（こすぎいっしょう）の死をいたんでよんだ句はどれか。

- 1 塚も動け わが泣く声は 秋の風
- 2 むざんやな 甲（かぶと）の下の きりぎりす
- 3 あかあかと 日は難面（つれなく）も 秋の風
- 4 山中や 菊（きく）はたおらじ 湯のほひ

問題 49

金沢市民芸術村は、市民が自主的に企画（きかく）したコンサートや芸術の練習の場として開放されているが、もともとは何の施設（しせつ）があったか。

- 1 食品工場
- 2 紡績（ぼうせき）工場
- 3 バス整備場
- 4 中学校



問題 50

江戸（えど）時代、金沢の町を治めるために、加賀藩（はん）は町人は町人らしく身分をわきまえて行動することを求めた。火の用心やキリシタン禁制など町人が日常生活において守らなければならないことがら書かれた法令はどれか。

- 1 町取締書
- 2 町方二日読
- 3 町人心得書
- 4 町読聞かせ書

※当検定の写真、イラストなどを著作権者の許可なしに複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、かたくお断りします。

写真提供者一覧（敬称略・順不同）

金沢市観光協会、金沢市画像オープンデータ、株式会社北國フィナンシャルホールディングス、大樋美術館、金沢市文化財保護課、金沢市観光政策課、金沢市スポーツ振興課